2019
Vol.21

九大別府病院だより

Kyushu University Beppu Hospital

病院の理念・基本方針

理　念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針

- ◆ 広域医療圏拠点としての連携体制の構築
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ 国際化の推進
- ◆ 高度先進医療を支える医学研究の推進
- ◆ 小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

新年の挨拶 …… 2
新任医師の紹介 …… 3
血液疾患診療の取り組み …… 4
市民公開講座を開催 …… 5
トピックス …… 6～7
紹介元の医療機関のご紹介 …… 8～9
外来診療案内等 …… 10

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

新年のご挨拶

九州大学病院別府病院長
堀　内　孝　彦

皆様には日頃より九州大学病院別府病院の運営にご理解、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は豪雨災害や大型台風の相次ぐ上陸、地震、酷暑など日本各地で様々な自然災害の猛威を受けました。被災された皆さま方には心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興を心から願っております。

当院は1931（昭和６）年に九州帝国大学温泉治療学研究所として創立され、今年で88年目を迎えます。以来、関節リウマチや悪性腫瘍、循環器疾患、脊椎疾患などの難病に対して質の高い医療の提供と世界的レベルの研究成果の発信を行ってきました。

現在、当院は別府市の地域再生計画（内閣総理大臣認定「生涯活躍のまち」形成事業）の大学等との連携による「健康にぎわい拠点」形成の中核として位置づけられています。今後、将来に向けてその役割を果たすべく、2023年の新病院開院を目標に「再開発に向けた基本構想」を策定しました。また、10万平米という当院の広大な敷地を有効活用することによって、別府市とともに連携して地域の活性化に貢献し、皆様の健康増進のお役に立ちたいと考えています。

さて、今年は５月に平成から新元号へと移行する大きな節目の年を迎えます。九州大学病院別府病院の更なる飛躍の年になりますよう、当院の理念である”患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指し”、全職員が一丸となって誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様にはこれまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが本年が皆様にとりまして素晴らしい１年になりますよう祈念して、新年のあいさつとさせていただきます。

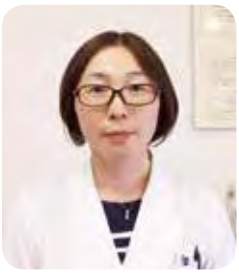
新任医師の紹介

整形外科

熊丸　浩仁（くままる　ひろみ）

平成30年10月より整形外科に赴任いたしました熊丸浩仁と申します。これまで九州大学病院・下関市立中央病院・九州中央病院・県立宮崎病院などの地域の基幹病院で脊椎疾患・外傷を中心に診療を行った後、４年程度米国カリフォルニア大学サンディエゴ校で脊髄損傷の研究を行っておりました。当院では脊椎・脊髄疾患の診療を行って参ります。脊椎・脊髄疾患による痛み・しびれ・麻痺等で困っておられる患者さんを整形外科の医師・看護師・リハビリのスタッフと一緒になって治療していくことにより、皆さまによりよい生活を送っていただけたら幸いです。患者さん一人一人の病態と生活に合った最善の医療を提供できるように尽力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

外　　科



野田　美和（のだ　みわ）

平成30年10月より九州大学病院別府病院外科に赴任しました野田美和と申します。生まれはお茶どころで有名な八女市です。平成21年に大分大学医学部を卒業後、平成23年に大分大学消化器・小児外科に入局しました。初期臨床研修終了後は大分県立病院にて主に乳腺分野を中心に外科医として経験を積んできました。平成28年４月からは三森功士先生に研究の機会を頂き、大学院生としてこちらの外科研究室に参り、乳がんの研究を行っております。今後は研究とともに臨床でも貢献できるよう、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

血液疾患診療の取り組み

日本血液学会研修施設である当院内科（免疫・血液・代謝内科）では、日本血液学会認定血液専門医・指導医・評議員である亀﨑健次郎講師（平成10年卒）の指導のもと、血液疾患の専門治療に当たっています。

血液疾患は、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、特発性血小板減少性紫斑病などの血球減少をきたす疾患から急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性疾患まで多岐にわたります。

血液疾患治療では、感染症など全身管理を必要とする合併症を起こすことが多く、当院では、無菌室を備えた内科病棟で、医師、看護師、薬剤師、検査技師、医療社会福祉士（MSW）など一丸となって、患者様の診療に当たっています。悪性リンパ腫や多発性骨髄腫など、放射線治療が奏功する疾患に対しては、放射線科と連携し、積極的に放射線療法を行なっております。

近年、血液悪性疾患に対する新規薬剤や抗体薬などの標的治療薬の開発は盛んに行われており、当院も、福岡市の九州大学病院に本部を置く福岡血液疾患診療グループ（FBMTG）の一員として、臨床試験に参加し、新規治療の開発にも当たっております。今後とも当院の診療に対して、ご支援・ご指導をいただきますようお願いいたします。貧血、血小板減少など血液疾患が疑われる患者様がいらっしゃいましたらご相談頂けると幸いです。

（文責　内科　亀﨑健次郎）

市民公開講座を開催しました。

平成30年10月20日㈯に宇佐市の宇佐ホテルリバーサイド、翌日21日㈰に湯布院町の湯布院コミュニティーセンターにおいて市民公開講座を開催しました。

宇佐市では『がん治療最前線』をテーマに、当院外科の三森教授、大津助教、放射線科の平川准教授による講演が行われ、湯布院町では『健康長寿のための最新医療：高齢者に多い手足の痛みと痺れ』をテーマに、当院内科の得能診療講師、木本助教、整形外科の播广谷准教授による講演が行われました。両日ともに晴天にも恵まれ、たくさんの市民の皆様に参加していただきました。参加された会場の皆様は熱心に講演に耳を傾けておられ、健康に対する関心の高さが感じられました。また、「大変ためになった」、「また開催して頂きたい」などとご好評をいただき、質疑応答も活発に行われました。会場内に開設した看護師による「血圧測定コーナー」も大変ご好評をいただきました。

今後も、市民の皆様の関心の高い疾患やその予防法等に関する公開講座を開催し、市民の皆様の健康増進や疾病予防に寄与するとともに、当院をより身近に感じていただく機会としていきたいと考えております。

宇佐会場の様子

湯布院会場の様子

「健康にぎわいイベント」第2弾！ ～温研を探検～

10月27日㈯、別府市の「健康にぎわいイベント」が当院で開催され、子どもから90代のお年寄りまで、県内外より120名を超える多くの方々にご参加いただきました。試行的に実施された昨年に続く第２弾となる今回は、「温研を探検」と題し、敷地内の探検や、ストレッチをまじえた理学療法士の講座を開催し、「温研」として長年親まれてきた当院をより身近に感じていただきました。また、別府八湯温泉道の１日限定スタンプも登場し、院内温泉を特別に解放して入浴体験も実施しました。

「普段入れない所に入れたことは貴重でした。今後もいろいろなイベントをしてほしいです。森林があることに驚きました。温泉が好きで移住してきましたが病院に温泉はさすがだと感じました。」など、参加された方々からは多数のご好評をいただきました。

「第７回東部医療圏地域医療連携セミナー」を開催しました。

右田清志先生

小川武彦先生

平成30年10月31日㈬に第７回東部医療圏地域医療連携セミナーを開催しました。

当院病院長　堀内教授の開催挨拶に続き、前半は当院外科の三森教授の司会により、①「当院における腹腔鏡下横行結腸癌手術の定型化の試み」（鶴田祐介医師）、②「当院における単孔式腹腔鏡下手術の導入の試み」（大津　甫医師）、③「肝腫瘍を契機に発見された胃癌と大腸癌の同時性重複癌の１例」（黒田陽介医師）の一般講演を行いました。

後半は堀内教授の司会により、①「早期関節リウマチへの治療介入－別府市における取り組み－」（怜知会ミヨシ医院　院長　小川武彦先生）と、②「医療連携を要する不明熱について」（福島県立医科大学医学部　リウマチ膠原病内科学講座　主任教授　右田清志先生）の特別講演を行っていただきました。

「さくら会」パークゴルフ大会

『九大別府病院さくら会』は大分県糖尿病協会に所属している患者友の会です。

糖尿病患者さんを有する近隣のクリニックの先生方や患者さん・ご家族、多くのコメディカルスタッフも加入しています。

さくら会では年に１度、『運動せん会・食べん会』と銘打って、運動イベントと食事会を開催しています。運動前後に血糖値・血圧測定を実施。運動後は（血糖値や血圧の）改善が見られる方も多く、運動療法の効果をご自身で実感して頂くことができます。また、食事会では外食を楽しむコツや、日常の食事療法のポイントについて学びます。

平成最後の年は2018年11月25日㈰に開催、16回目となりました。

今回の運動内容は、別府市実相寺にある『実相寺パークゴルフ場』にてパークゴルフ大会。

ホンモノのゴルフさながら、１ホール約50mほど先にあるカップを目指し、全行程18ホールを回りました。

毎年、世界糖尿病デー（11／14）前後に開催、友の会に加入されている患者さん・ご家族をはじめ、当院通院中の方や糖尿病に興味のある方、ご自身の健康増進のために…と地域の方々への参加も呼びかけています。

今後も、糖尿病や糖尿病合併症予防、糖尿病療養支援のお役に立てるよう、継続していきたいと思います。

『クリスマスコンサート』を開催しました

12月５日㈬17時より、外来ロビーにおいて『クリスマスコンサート』を開催しました。

当院の「クリスマスコンサート」は今年で８年目になり、別府大学短期大学部非常勤講師の中嶌里亜先生のピアノと別府大学吹奏楽団のみなさんにより、「クラリネットをこわしちゃった」〈クラリネット４重奏〉、「もろびとぞりて」〈トロンボーン３重奏〉、「アメイジング・グレイス」〈トロンボーン３重奏〉、「ラ・セーヌ」〈サックス７重奏〉、「アンダーザシー」〈ホルン３重奏〉、「Friends」〈ピアノソロ〉、「聖者の行進」〈金管５重奏〉を演奏していただきました。

また、会場のみなさんと一緒に「きよしこの夜」「ジングルベル」を合唱し、華やかで楽しいクリスマスの雰囲気を感じるひと時となりました。

紹介元の医療機関のご紹介

織部リウマチ科内科クリニック

院長 織部 元廣 先生

織部リウマチ科内科クリニック

織部元廣院長

昭和50年からの10年間が、私の九大病院別府病院（旧温研）の在任期間です。途中大分県立病院へ１年間、別府医療センター（旧、亀川国立病院）へ２年間出張させて頂きました。そんな中、私の一番の自慢は、当時の延永正教授の一番弟子として入局出来たことです。医師国家試験が終わり、５月に帰郷し、とりあえず入局希望を提出するため医局に顔をだした所、延永教授から、医師免許が得られるまで研究をしなさいと言われ、温研に保存されてあった血清を用い、抗DNA抗体をRIA法で計ることを命じられました。そして、６月の国試結果が発表される前に、44例のSLEやコントロール、その他の膠原病で抗DNA抗体価を測定し、その成果を温研紀要（昭和51年９月１日発行）に投稿しました。この貴重な経験が以後の自分の医師としての歩みに大きな影響を与えました。

あれから40年以上が経ちましたが、臨床研究に対する意欲は衰えるどころか、今もまったく変わることはありません。すなわち、卒後の最初の動機づけが今の自分を作るきっかけになったように思っています。

温研で10年間お世話になった後、昭和60年６月、大分赤十字病院へ就職しました。当時、先に第２内科部長として赴任していた兄のお陰もあり、当初から第３内科部長として迎えられ、将来リウマチ専門クリニックを開設することが内々で決められていました。リウマチクリニックのパイオニアとして、１から新たな分野を開拓することが楽しく、やりがいのある日々だったことが思い出されます。21年間勤務しましたが最後の６年間は副院長として責任ある要職を任せられ、無事にその任を終えることが出来たことは多くの仲間達の支えがあってのことであり、この場を借りて感謝したいと思います。

そして、平成18年２月４日、現在の織部リウマチ科内科クリニックを開設しました。開業後の初月に804名の患者さんが受診して下さり、以後、現在まで多くのリウマチ患者さんが受診して下さっています。開業医としての毎日の診療は、臨床的学びが想像以上に多く、日々リウマチ医としての腕が上がってきていることを実感します。

2013年堀内孝彦先生の九大別府病院の教授ご就任に併せて、内科医局と気候内科医局が合体することとなり、私がその初代合同同門会の会長の任を仰せつかりました。大変な重積であり、また身に余る光栄ですが、私が延永教授の一番弟子として入局したこと、大分赤十字病院のリウマチ科を立ち上げたことなどから、何かパイオニア的人生が私に与えられた天命であるような気がしています。これからも堀内教室の同門会会長として、少しでも御役に立てればと願っています。

最後に、九大病院別府病院の益々のご発展を祈念して、九大別府病院だより寄稿文とさせていただきます。今後とも、宜しくお願いします。

◆DATA

住　　所：大分県大分市東大道1丁目8番15 カサベルテ駅南1階
電　　話：097-513-7123
資　　格：日本内科学会認定医
　　日本リウマチ学会指導医、認定医
診療科目：リウマチ科、内科

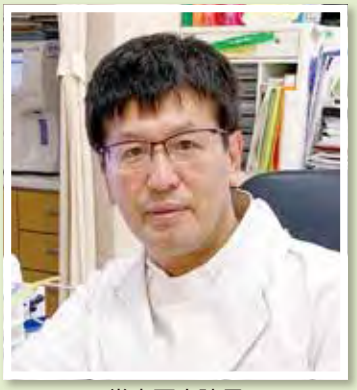
◆アクセスMAP

紹介元の医療機関のご紹介

つねとみ内科胃腸科クリニック

院長 常富 亘人 先生

つねとみ内科胃腸科クリニック



常富亘人院長

平成17年に中須賀本町につねとみ内科胃腸科クリニックを開業しました。

主に一般内科診療を行っているため、上気道炎や胃腸炎の治療、生活習慣病である高血圧、高脂血症、糖尿病、痛風等の治療を混在して行っています。生活習慣病では、薬物治療のみならず別府市保険年金課、健康づくり推進課の保健師や管理栄養士と連携し、積極的に食事療法や運動療法に取り組んでいます。別府医師会での活動では地域福祉部門である、別府市医師会訪問看護ステーションを担当しており、介護の問題および医療と介護の連携に携わっております。退院後の計画、および介護の必要な患者さんがいれば別府医師会訪問看護ステーションにご一報いただければ幸いです。また、別府医師会地域連携パス委員会CKD班に属し基幹病院腎臓内科にご教授いただき、腎臓内科専門医とともに別府市におけるCKDの啓発のための市民公開講座や住民検診の推奨、開業医と腎臓内科専門医の連携を行っています。

一方、当院は消化器内科が専門科ですのでほぼ毎日、腹部エコーや上部および下部内視鏡検査を行っています。最近では、胃がんの原因と考えられるH.pylori菌の相談、治療が増加傾向にあります。当院内視鏡検査にて過去５年間で発見された腫瘍は、咽頭がん１例、食道癌５例、胃がん24例、大腸がん35例でした。もっとも多いのは大腸がんですが、比較的進行した症例も多々見つかることがあり、大腸内視鏡検査も勧めてはいるのですが患者さんが希望されないことも多く、早期発見、早期治療がいかにすればできるのか日々苦悩しています。当院にて発見された多数の症例は、三森功士外科教授にご紹介し、高度で手厚い医療をして頂き患者さんも大変満足しております。退院後も当院へ逆紹介があり、貴院外科と連携し術後経過観察も当院にて患者の診療ができ助かっています。今後もこの良好な関係を継続したいと思います。

◆DATA

住　　所：大分県別府市中須賀本町3組
電　　話：0977-67-3600
資　　格：消化器病専門医
　　消化器内視鏡専門医
診療科目：内科、胃腸内科、胃腸科

◆アクセスMAP

九州大学病院別府病院　外来診療案内

（平成31年1月1日現在）

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病	堀内孝彦 木本泰孝 村上哲晋	堀内孝彦 押領司大助	木本泰孝 村上哲晋	病棟回診日	堀内孝彦 木本泰孝 押領司大助
	糖尿病	井林雄太	――	――	井林雄太（午後）	井林雄太
	血液病	――	亀﨑健次郎	亀﨑健次郎	病棟回診日	亀﨑健次郎
	がん・腫瘍	奥村祐太	奥村祐太	――		奥村祐太
	慢性疼痛	――	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹（再来）	――
	骨粗鬆症	――	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹（再来）	――
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来	樋口義洋 得能智武	樋口義洋 得能智武 午後 心血管カテーテル検査・治療日	樋口義洋	樋口義洋 午後 心血管カテーテル検査・治療日（予備日）	得能智武
外科	一般 消化管 肛門	三森功士 江口英利 大津甫	三森功士 手術日	三森功士 黒田陽介 大津甫 鶴田祐介	三森功士 手術日	三森功士 江口英利 黒田陽介
	肝・胆・膵	江口英利	手術日	黒田陽介	手術日	江口英利 黒田陽介
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科（脊椎脊髄）	脊椎外科（完全予約制）	手術日	熊丸浩仁 飯田圭一郎 齋藤武恭 大山龍之介	手術日	播广谷勝三 飯田圭一郎 齋藤武恭 大山龍之介	播广谷勝三 熊丸浩仁
放射線科	放射線治療	脇山浩明	脇山浩明	――	脇山浩明	――
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	江口／鶴田	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	江口／鶴田
	下部消化器内視鏡	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	EMR／ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	ERCP	――	――	――	――	――
	セカンドオピニオン	要予約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

新患受付時間 8:30～11:00　**再来受付時間** 8:30～12:00（予約の方は除く）　・整形一完全予約制：地域医療連携室へ要Tel　・放射線治療一初診 8:30～11:00

※但し土日、祝日は休診（急患は除く）代表電話：0977-27-1600、地域医療連携室：フリーダイヤル：0120-272-518、直通：0977-27-2055

地域医療連携室より 問合せ先ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722（直通）

・検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518（専用）
0977-27-2055

・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関するお問い合わせ

月～金　8:30～17:00　0120-272-518（専用）
TEL：0977-27-2055（直通）　FAX：0977-27-3008（24時間受信可）

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital
〒874-0838　別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地
代表　TEL 0977-27-1600
URL　http://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/